

SILENT HOLE

バブルヘッドナース凌辱調教記録

18

18 For
Adults
Only!



革命政府広報室
2017 WINTER

前書き：前略・霧の町から

みなさんこんにちは、ラヂヲヘッドです。

今回は長年描く描くいってついぞ描けなかったサイレントヒルのエロクリーチャーバブルヘッドナースを思いつくままに陵辱というか調教というか、とにかく劣情をぶつける本でありますよ。そしてこれまで苦手で忌避していた陵辱エロに、自分なりに工夫して挑戦してみた本であります。

クリーチャーエロ(巨体デブショタ、牡馬、土人、うんこゴーレムを除く)を描くのも初めてなら、意識して「陵辱エロ」を描くのも初めてということもあり、そういう嗜好にどっぷり肩まで浸かってる方から見るとだいぶ初心者向けな内容かもしれません、クリーチャー相手であれば相当ひどいことしても心が痛まないという発見をいたしましたので、今後また描く機会を持てると思えますし、その際にはより本格的な陵辱に挑戦してみたいとも思っています。なんにせよこの本をまずは楽しんで頂けることが目下の望みです。

また、今回大変パワフルなクリーチャーエロを描く勇士の方々にご寄稿賜ることができました。色々な切り口のクリーチャーエロをよりどりみどりに楽しんでいただければ大変幸いです。

今回はデッドラインまで少し時間あるので多少まとまな前書きでした。

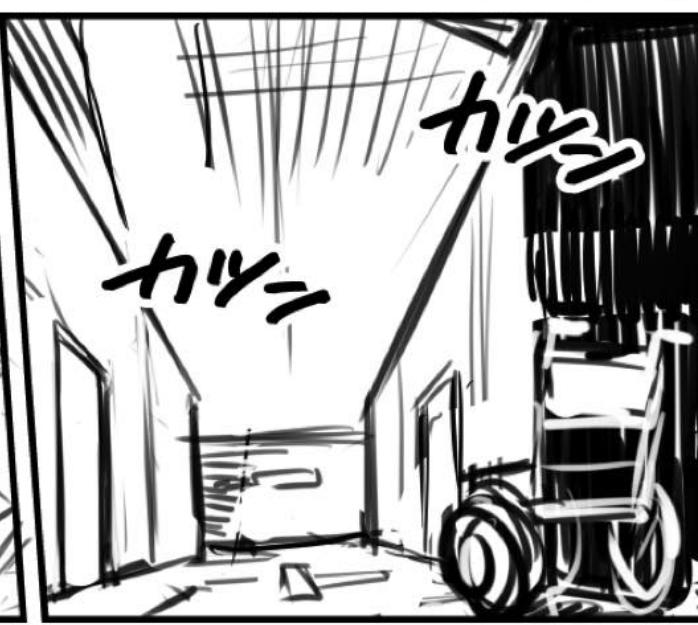
2017.12.26
ラヂヲヘッド

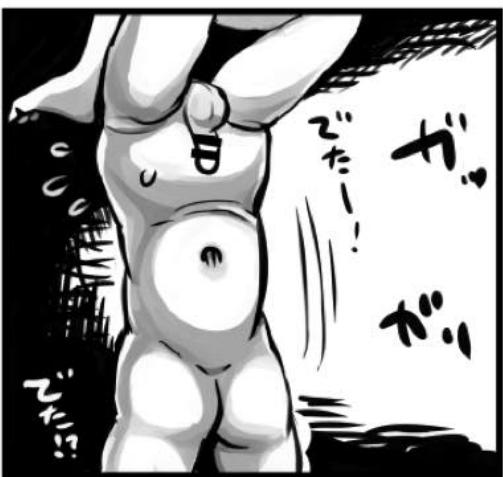
CONTENTS

ラヂヲヘッド	5P
黄猿	27P
悪の東丈	29P
だぶるでっく	33P

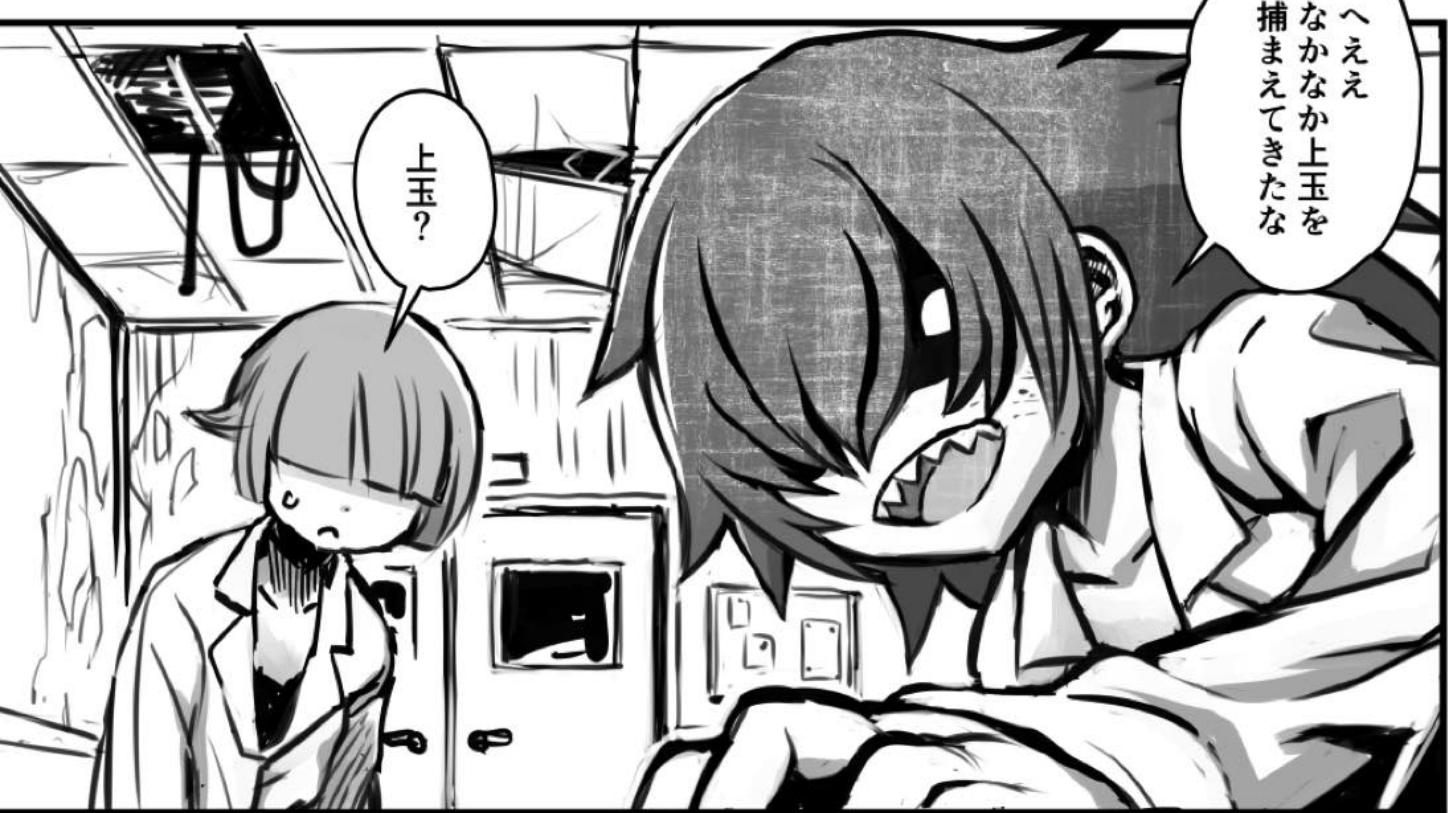
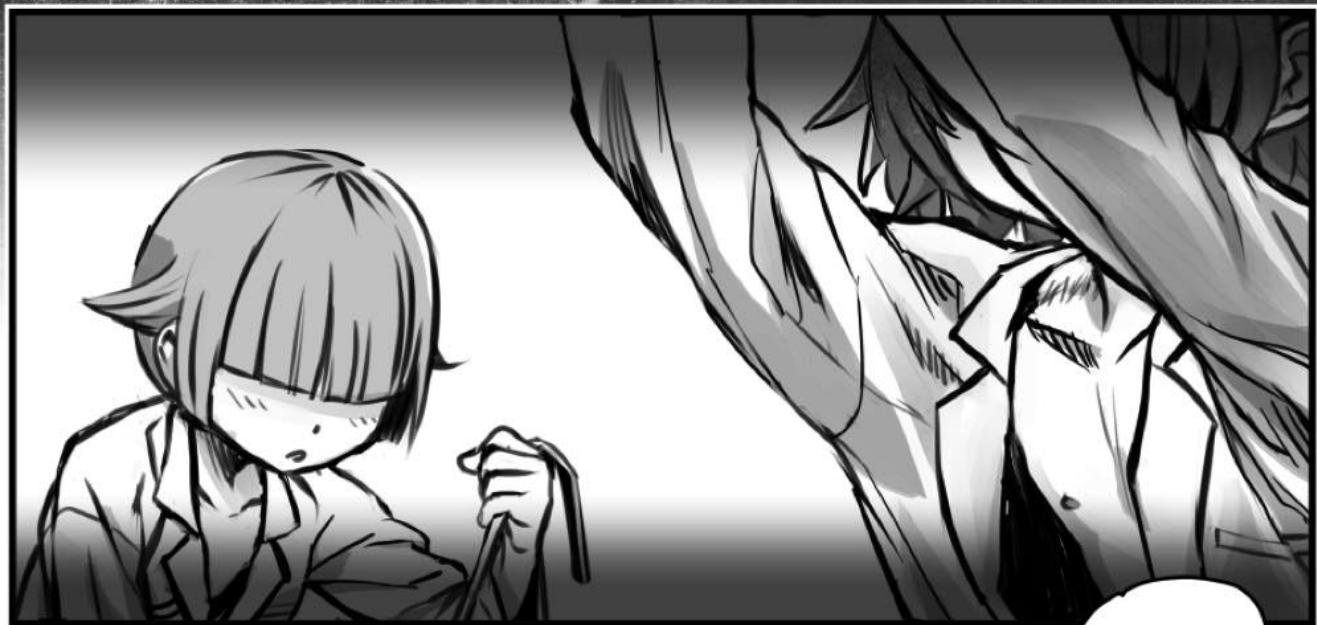


バブルヘッドナース陵辱調教記録











“先生”は
僕にこの霧の中で
生きるすべを
教えてくれた人だ



会ったその日に
レイプされたけど
頼れるヒトは
こいつしか
いなかつた



そんなコトを
耳元で囁かれながら
何度も何度も
犯された

“この町を喚んだ
お前の抱える
薄汚い罪に”

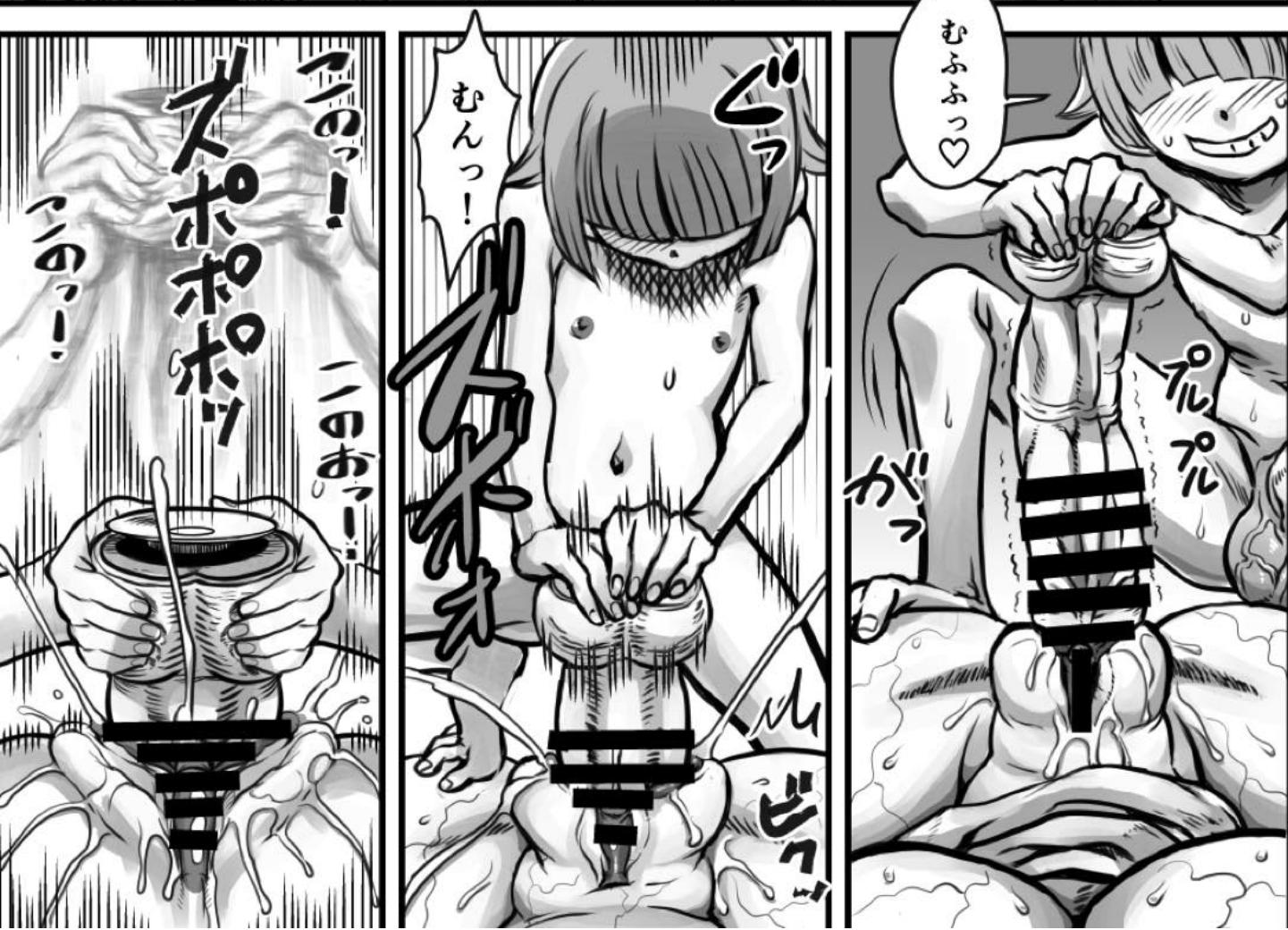
“お前には
俺が罰を与えて
やろう”

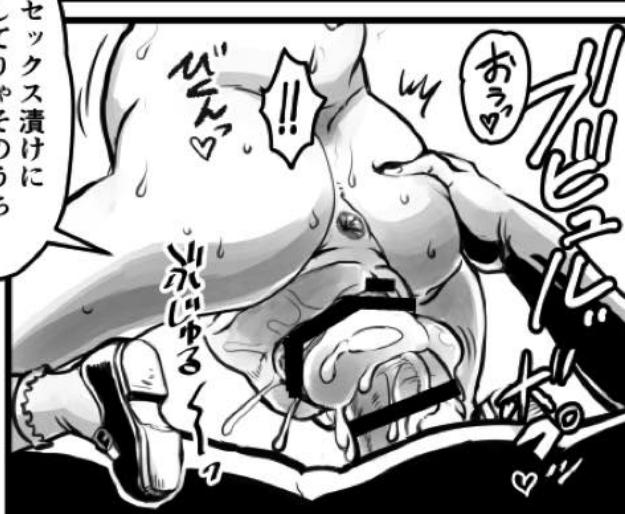


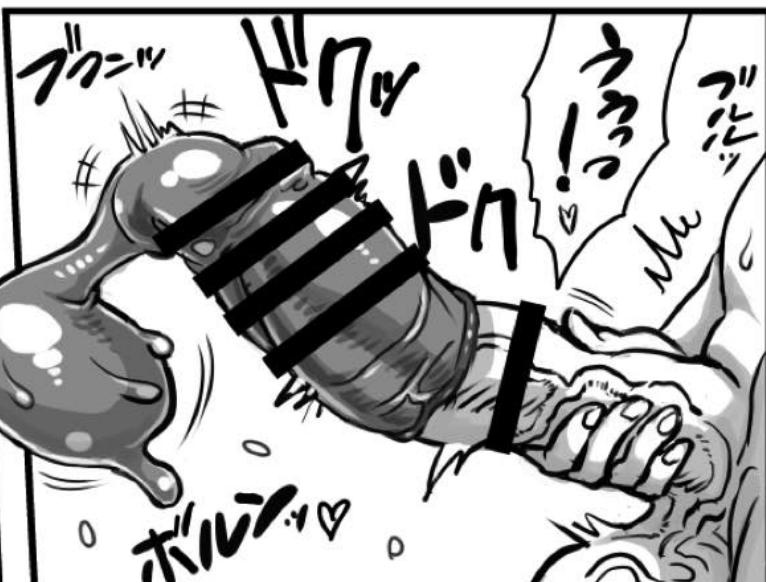


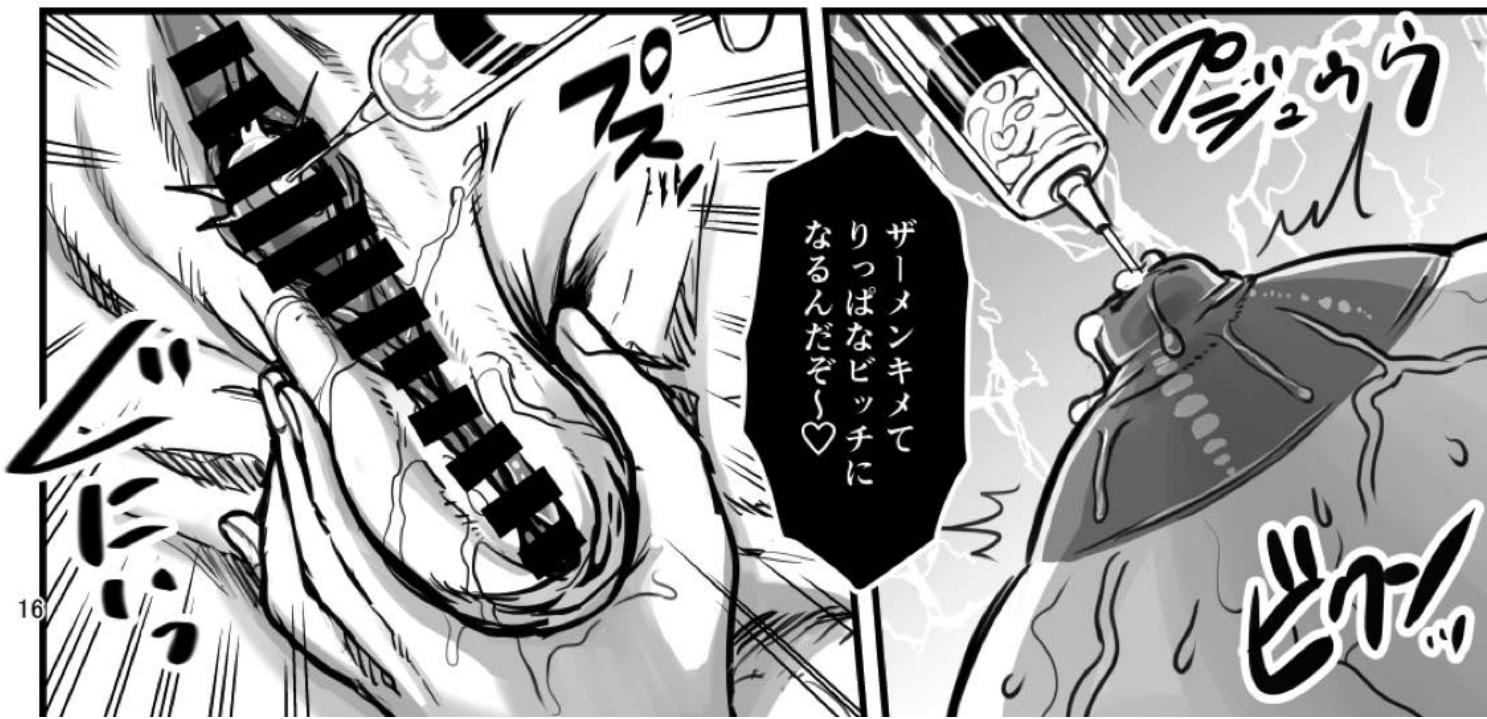
よし…じゃあコレは
お前にやるから
調教してみな





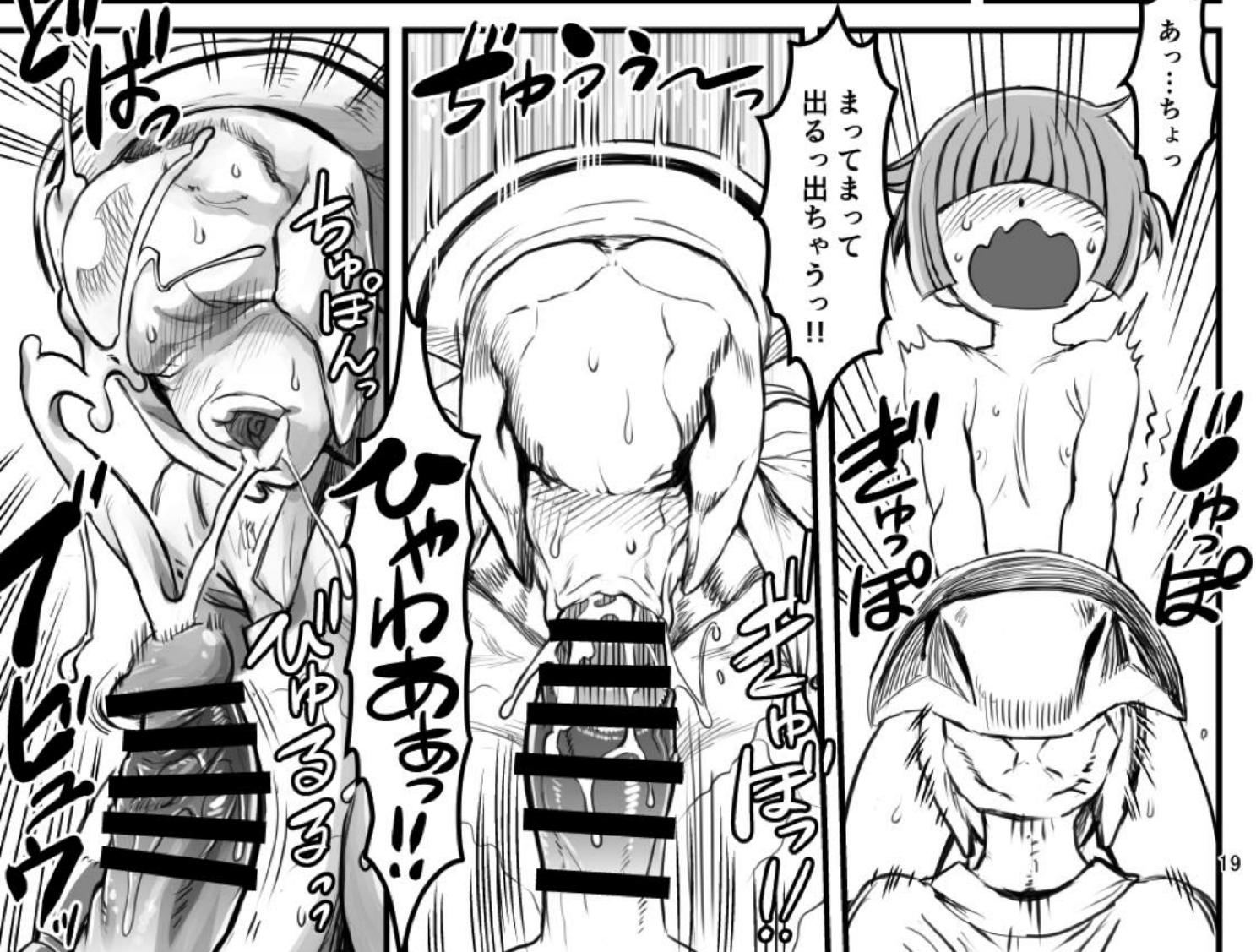












あ〜...
びっくりした



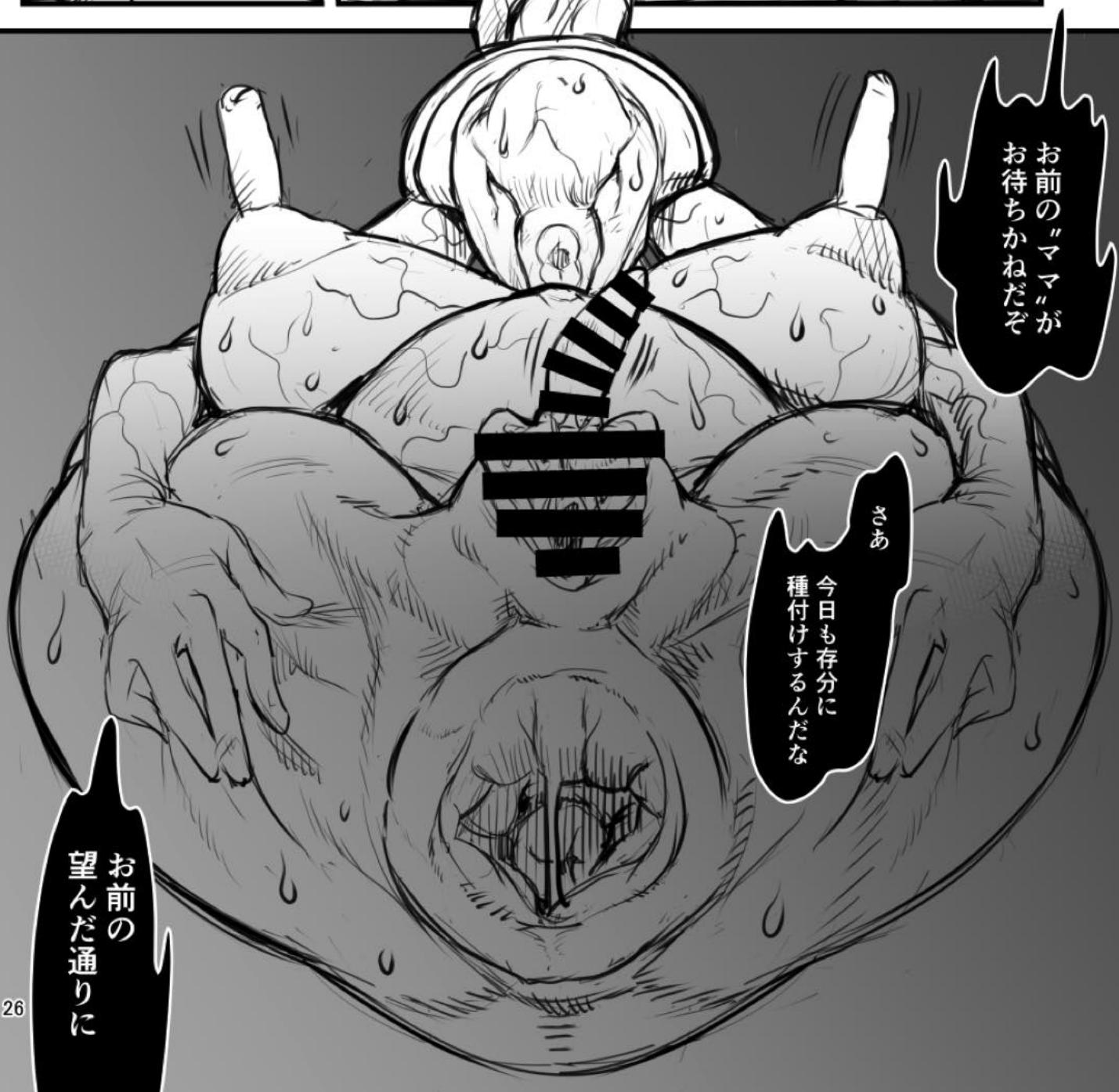












バブルバディペイシェント

風船のように膨張した乳房や臀部が、暴力的なまでに性的興奮を駆り立たせるクリーチャー

受け入れてくれる者に対して彼女は大変献身的だ
ただし嫌悪感を示せばたちまち凶暴化し、その手に
持った鉄パイプが振るわれる。肉塊になりたくない
のなら、異形を受け入れる度量が必要だ



彼女は無害ではあるが容赦を知らない
力で劣る者はその巨体でのしかかられ
彼女自身が満足するまで搾精が行われる





ストレンジウォール
肉の壁から直接下半身が生えたかの
ような奇妙なクリーチャー
敵意はないが扉の前に居座っている
ので、排除しなければ先には進めない



その下半身は見る者がもっとも
性的関心を抱いている身近な
人間であることが多い

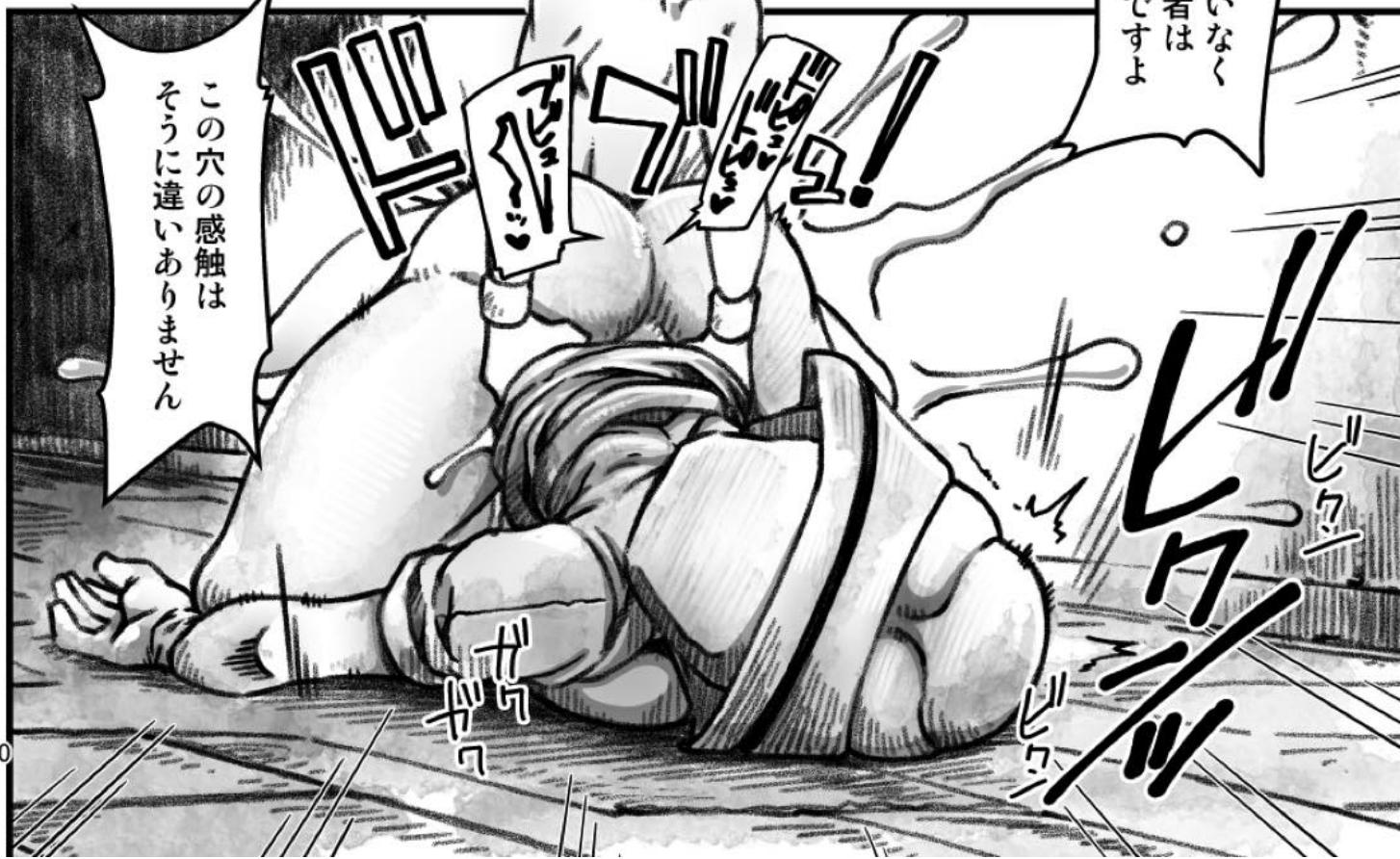


倒すには容易な相手だが
その場で歩を止め生還を
あきらめた者は少なくない



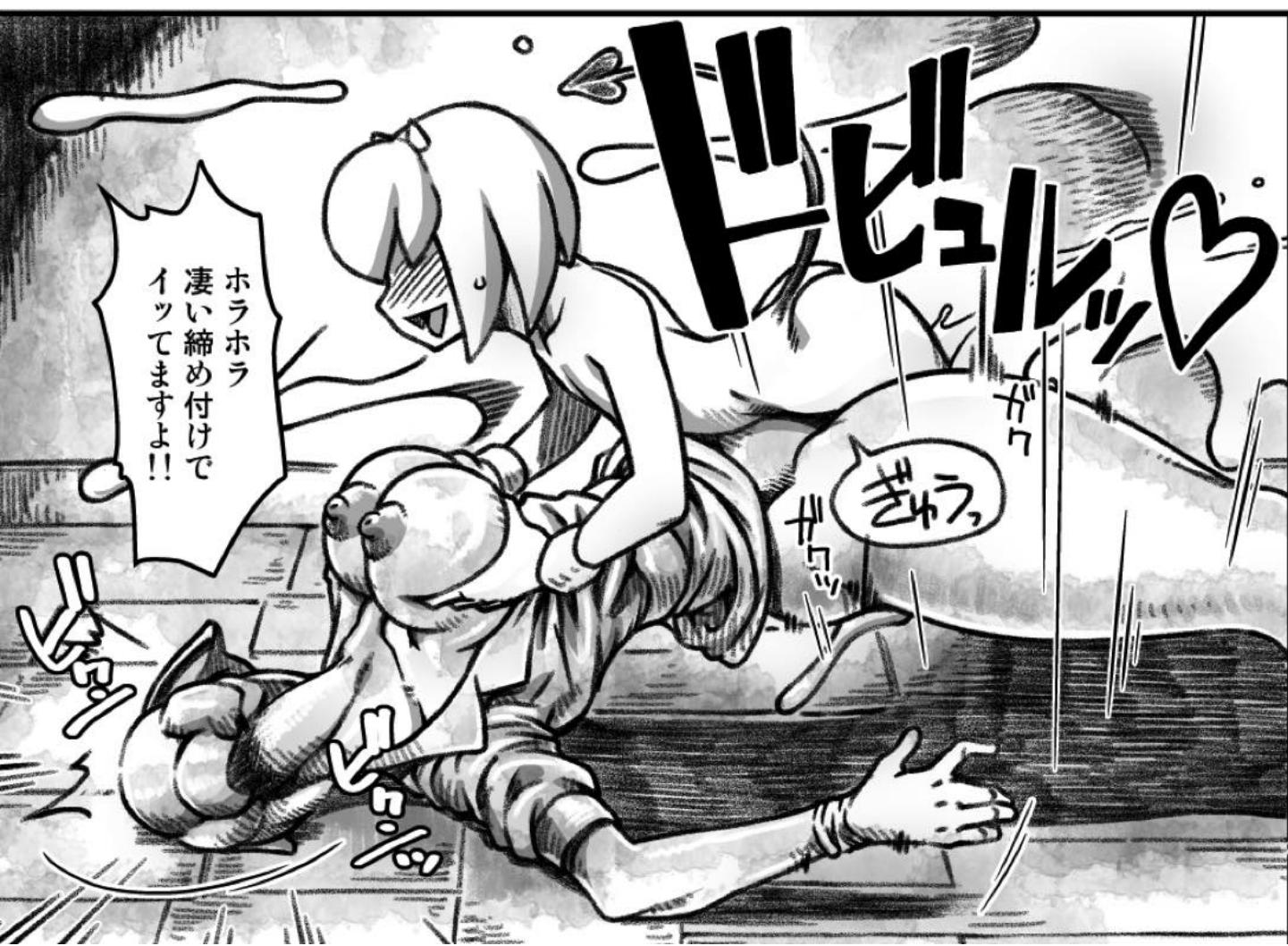


間違いない
開発者は
変態ですよ





しつかりと
壁内がうねうね
反応してて



やられモーション
かつて位痙攣して
ますね♡

今度は いっぱいナース
さん達が出るマツブで
やりましょうね♡

おわり。
32

これは確かに
僕の手だ…

間違いは無い

だが…
今ではなく
ずっと昔の…

最後の記憶は

混濁した意識
の中見上げた
病室の天井…

私は一体どうなつて
しまったのだろう?…

死んでしまったのか?

もしそうなら…

「…」は一体…?



母が極端に厳しかった
私は献身的な彼女達に
母性を求め…同時に

彼女を見た瞬間
私は思い出した



そしてその事に
罪を感じていた自分。

性欲の捌け口として
彼女達の肉体に欲情
していた事…



いいよね?

もう…

でも…
この場所なら…











当初漫画の扉絵として描いたもののキャラの髪型も変わっちゃうしそもそもエロ漫画に扉絵必要か？と思い、
後ろに回したイラスト。

表紙ボツ案

ケツタワーを描きたかった。
膨大な手間をかけたわりに
表紙としては意外に地味と
気付き断念。ケツタワーは
続きを描ける機会があったら
ぜひ出したい。



後書き：静岡より愛をこめて

2017年ももう終わりますね。不惑の一年はあっという間でした。
ラヂヲヘッドです。

今回は当サークル初のクリーチャーエロであり(巨体デブショタ、牡馬、土人、うんこゴーレム除く)、初の陵辱(?)エロに挑戦した本になります。

昨今の陵辱、NTR、DQNや種付けおじさんブームとは無縁のエロを描き続けていた当サークルですが、長年その背を追いかけてきた同世代のヒーローであるところのA-10さんすらそういう方向にシフトしたのを見て、果たして自分もそういった大きな潮流から目をそらし続けていいのだろうか、年を取って自分の嗜好の開発が疎かになり、内に引きこもってはいないだろうか、という自問自答をするようになり、思索を経て経てたどり着いたのが以前から描きたかったこのバブルヘッドナースでした。

バブルヘッドナースとは、2001年にKONAMIより発売されたPlaystation2のゲーム「SILENT HILL 2」に登場する扇情的な看護婦の姿をした怪物です。このゲームに登場するクリーチャーは、その多くが主人公や登場人物たちの抱いた劣情や性的トラウマに由来しており、それゆえかなり早い時期からこのバブルヘッドナースもエロ方面での二次創作が描かれてきました。ラヂヲヘッドもまた、かなり以前からエロを描きたいと表明していたものなかなか機会がなく、いつしか忘れ去ってしまいました。

それを今回持ち出してきたのは、自らが苦手とする暴力や強制力によるエロ、つまり陵辱系エロを描くにはどういった思考のスライドが必要になるか考えた結果、「クリーチャー相手ならひどいことしても胸が痛まない」という結論に達したからでした。とはいえ、今回はまだラヂヲヘッドの陵辱エロ処女作とも言えるものなので、陵辱を描くノウハウが足らず、実質的にそこまでハードな陵辱展開までは描けていません。今回の本の反応次第でもありますが、バブルヘッドナースでまた本を出せるのであれば、今回の漫画では構想にありつつも分量的に描ききれなかったよりハードコアな続きの展開に挑戦できればと思っています。

今回はラヂヲヘッド以前よりバブルヘッドナースのエロを描き、発表しているいわば先輩とも言えるお三方にご寄稿いただきました。10年以上前からバブルヘッドナースのエロネタを語り合っていた悪の東丈さん、早くからバブルヘッドナースにも負けないほど卑猥なオリジナルのサイレントヒルクリーチャーを描き、PIXIVで発表していた黄猿さん、そして圧倒的な重厚感でサイレントヒルの世界を描き込んだバブルヘッドナースのデジタルエロコミックを世に出しただぶるでっくさん、素晴らしいクリーチャーエロを本当にありがとうございました！その素晴らしい作品にふさわしい本になっていれば大変幸いです。

2018年の予定はまだ未確定ですが、怒涛の新展開で最近人気が再加熱している「わたモテ」で、スカトロも爆根もなしの可愛さ重視な本を出したいという漠然とした構想と、またギャル子ちゃんで何かCG集でも出せねばと考えています。最新の情報はツイッターなどで公開しておりますので、よければぜひフォローしてください。

それでは、次の本でまたお会いしましょう。

2017.12.26

謝辞

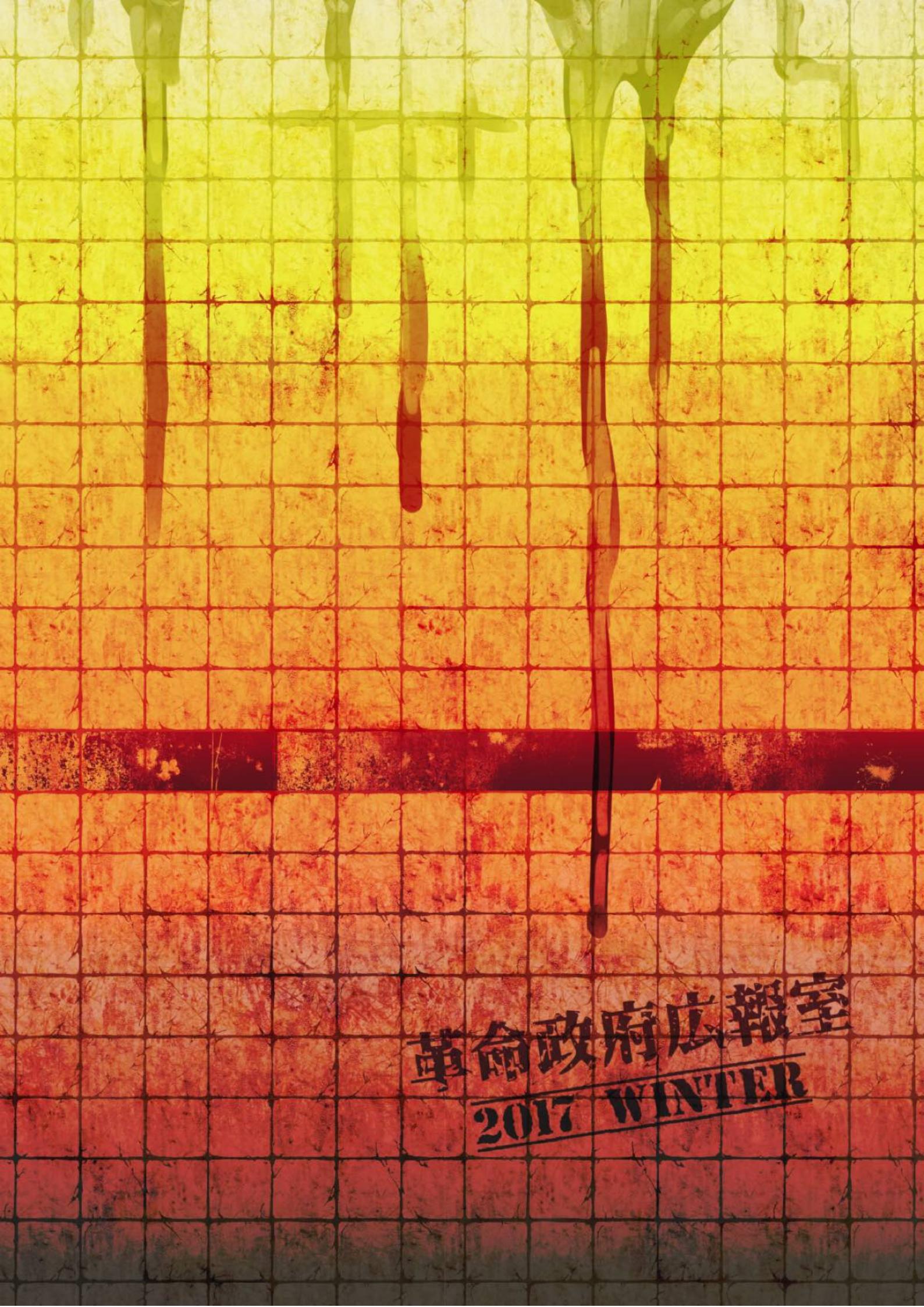
今回、大変な無理を言って塗りのお手伝いをお願いした、悪の東丈さん、ツイッターでのアシスタント募集をお受けいただいたゴトシさん、てくのていっしゅさん、misabonさんに感謝を捧げます。

このフォー・ホースメンの力がなければ、この本は完成しなかったか、完成しても画竜点睛を欠くものになっていたでしょう。

本当にありがとうございます！！

発行者：革命政府広報室
発行日：2017.12.31 コミックマーケット93 初版
連絡先：parano@jcom.home.ne.jp
Twitter：https://twitter.com/Radio_paranoia
Pixiv：<https://pixiv.me/radiohead>
(最新情報は主にツイッター及びPIXIVで告知しています)

印刷所：上野印刷所



革命政府広報室
2017 WINTER